

スローク

Vol.11

slow work 寄り添い・祈り

累計ワーカー総数
7,094名
(2011年3月15日～2015年6月30日)



隠れていること

深谷有基

(エマオ石巻・教団派遣専従者)

「見てもらおうとして、人の前で善行をしないように注意しなさい。……」

(マタイによる福音書 6章1節より)

「被災者」の抱えている課題や必要が見えにくくなっている。そして深刻な課題を抱え助けが必要と思われる「被災者」ほど隠れていっている。だとすれば、そうした方々に沿った「被災者支援」もとうぜん目立たないものになってくる。いい写真にもならない。だからかどうかは知らないが、多くの震災ボランティア団体が「被災地」からすでに撤退している。パトロンに報告しにくい働きばかりになるのだからそれは仕方ないことかもしれない。しかしそんないまだからこそ、そしてこれからこそ真のボランティア精神が問われてくるのではないかという気がしている。

誰を見ているのか、誰が見ているのか。善行をするとき、祈るときほど人前にあること、目立つこと、そうした「分かりやすさ」に気をつけねばならない。むしろ善行や祈りは隠れてするくらいがよい。「隠れたところにおられ」、「隠れたことを見ておられる」神がおり、その神は「偽善

を嫌われるからだ、とイエスはいう。震災ボランティアでも同じことが問われていると日々感じる。「ラッパを吹き鳴らす」ほど目立ちたい人は少ないにせよ、人は誰しも他人からありがたがられたいし、自らの働きには他人の働きより意味を見だしやすいものだ。そして目に見えていることをもとに自らの働きの自己評価をしやすいものだ。自らの働きを「隠れたところにおられ」、「隠れたことを見ておられる」神の視座をもって眺めることはなかなか難しい。どうしたらよいのだろうか。

「隠された」には「内側にある」と重なる意味がある。私たちが「被災者支援」団体として善行をなし祈りをしているならば、私たち個人の、また団体の内実を省みてみるのがその一歩となるのではないだろうか。深く反省せざるをえなくなる……。そして神からの支援を祈り求めねばならない存在はだれよりもまず私たち「支援者」であることに気づく。

主よ、あわれみたまえ。

キリスト、あわれみたまえ。

主よ、あわれみたまえ。

報告会を開かせてください!!

スタッフが皆さまの教会や諸集会にお伺いして、当センターの活動報告会を開かせていただけないでしょうか。

その席で、皆さまからの率直なご意見などをお聞きして、活動をつなげていきたいのです。

少人数の会にも、喜んで伺います。

【時間】30分程度から

【内容】被災地のいま、エマオの活動、これからについて ほか

【資料】必要部数を当センターで、準備致します。

【交通費】ご相談に応じます。



エマオ仙台

近況

- ★仮設住宅でのお茶っこ・昼食会
- ★津波被災農家などの生活再建支援
- ★在宅者、仮設住宅の方々への訪問、傾聴
- ★ささっこクラブ（こどもプログラム）



エマオにご招待

4月28日（火）に、「エマオにご招待」がありました。

1年以上前から「どんなところから来てるの?」「ボランティアさんはどんなところに泊まっているの?」「エマオを見たい」という質問をいただいていた。いつもは、お弁当プロジェクトで仮設にお邪魔しているのですが、今回はご招待の企画です。

仮設に関わり続けて4年、仮設の方がエマオに来るのは初めてでした。3ヶ所の仮設から17名、教区センター、ワーカー、スタッフと、合わせて50名の方が参加されました。たくさんの方が関わっての会になりました。皆さんでテーブル囲んでの昼食会。お花の名前のついたテーブルに分かれて、ナポリタンを食べました。食事ボランティアによる讃美歌、クイズビンゴやくわ茶の試飲、ピアノ演奏、スタッフ全員で『ふる里の浜』を歌いました。次は、仙台青葉荘教会を見学し、パイプオルガンの演奏を聞きました。教会に入ったのは初めてという方がほとんどでした。手を引いてゆっくりゆっくりの移動でした。

自治会長から、「エマオが思った以上に大きかった」という感想をいただきました。

後日、楽しんでいただけた様子をお聞きました。

そして、同窓会的な企画で、何かやれたらという案が上がりました。

また企画していきたいです。

高橋 千沙子（エマオ仙台）



「第4回 笹屋敷 de すずめ踊り」

5月2日（土）、好天の下、4回目となる「笹屋敷 de すずめ踊り」が行われました。

町内の皆さま、すずめ踊りを披露してくださった「七郷すずめ連」の皆さま、鼓笛隊演奏やハンドダンスを披露してくださった「ひのきしん」の皆さま、そしてエマオのワーカーやスタッフを合わせて、249名の方が来てくださいました! 多数のご参加ありがとうございます!! 会場の石場公園と笹屋敷町内会館を貸してくださった町内会の皆さま、ありがとうございます!!! ひのきしんさんの鼓笛隊&ハンドダンスに、七郷すずめ連さんのすずめ踊り…そして、みんなで、すずめ踊り!! 同時並行の、ささっこクラブも行い、カラオケでも、飛び入り参加者がいらして、好評でした。皆さまのお祈りとお力添えに支えられて、「第4回 笹屋敷 de すずめ踊り」は、成功裏に終わりました。新緑眩しいこの季節に、来年もお会いしましょう!!

畑屋 武志（事務局スタッフ）



「ささっこ通信」配り

6月20日（土）、ささっこ通信を配る日でした。

先日会った男の子に「ささっこ通信を配りを来週手伝って欲しいな」と約束していました。

午前中に迎えに行き、町内のヤギ小屋とトマトハウスまでちょっとお散歩。お昼を食べ、いよいよ午後、ささっこ通信を配り始めました。

実はこの日、小学校で親子レクがあり、午後になりみんながそろそろと帰って来ました。また一人、また一人とお手伝いが増えていき、気がつけば7人に。気分はハーメルン。

こどもたちが、こどもたちの手でささっこ通信を配ってくれました。

今、町内で配布している家庭は約15件。

このように、こどもたち自身が届けられることが定着すれば、それこそ、細く長くささっこが続いていくかもしれないと、大きな希望を見ることができました。

そのためには、ピンポンの鳴らし方、あいさつの仕方、留守だった時にどうするのか、いろいろなことをこどもたちと一緒に勉強していかなければいけません。

ピンポンの音が外まで聞こえていなくても、中では鳴ってるんだゾ。

「ピンポン壊れてるー!!」と大声で話して、何回もピンポン押しちゃ、ダメだゾ。そんな、嬉しく、楽しい今月のポスティングでした。

うれしかったなあ。

八田 美夕（エマオ仙台）

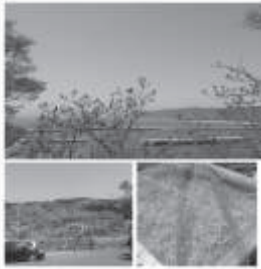


エマオ石巻
近況

- ★仮設住宅でのお茶っこ・昼食会
- ★在宅者、仮設住宅の方々への訪問、傾聴
- ★いしのまきっこ広場（こどもプログラム）
- ★地域の支援団体との連携



石巻ワーク日誌
～西田紗代子（エマオ石巻）～



4月30日（木）

朝はもやがかかっていたのですが、その後は晴天の袖ノ浜にお茶っこに行かせていただきました。

今は小女子（こうなご）が旬です。小女子が大漁だったようで、皆さん小女子を干しておられました!!



6月11日（木）

今日は渡波大森仮設周辺の草取りをさせていただきました。大森仮設から見る万石浦につながる海の護岸工事も進んでいます。それぞれの思いを胸に、午後2時46分を迎えました。



5月20日（水）

今日は、恵み野団地にて昼食会でした！メニューはちらし寿司！

楽しい雰囲気の中になりました。皆さんと取り分ける前に、ぱしゃり。



7月3日（金）

どんよりくもり空の石巻ですが、袖ノ浜の皆さんと、楽しくお茶っこさせていただき、午後のワークに向かいます！

支援金のお願い

これからも、この活動を続けていくために、引き続きお支えくださいますようお願いいたします。

支援金はこちらまでお願いいたします

<振込方法>

- ①ゆうちょ銀行振替口座
02220-5-137681
日本基督教団東北教区
- ②ゆうちょ銀行総合口座
18180-9624941
日本基督教団東北教区

※領収書を発行いたします。お手数ですが、金額、ご住所、お名前を、日本基督教団東北教区事務所（022-222-0998）まで、ご連絡をお願いいたします。



支会会計報告(2011年3月～2015年5月末)

温かいご支援に心より感謝いたします。

支出の部

事業費	4,601,348
人件費	70,510,711
事務費	21,599,209
活動費	10,338,716
旅費交通費	4,098,603
車両費	12,794,830
繰越金	896,154
合計	124,839,571

フィールドスタディツアーに行きませんか？

いま、被災地はどうなっているのか。どのような支援が行われているのか。そしてどのような支援が求められているのか。これからどうなっていくのか。この地に足を運び、からだ全体で受け止めていただけないでしょうか？

※ 案内・運転にスタッフが付き、車で移動します。

※ コースやスケジュールは、ご要望に合わせて調整いたします。

【定員】2名以上から実施 【参加費】500円(旅行傷害保険に加入) 昼食代は、自己負担となります。

☆先日行われた、仙台コースの一例

- 7:30 エマオ仙台集合
- 7:55 エマオ出発
- 8:20 ラジオ体操&お茶っこに参加@七郷中央公園仮設
- 9:30 オリエンテーション@笹屋敷町内会館
- 10:15 「閉上の記憶」や被災地した老人ホーム「うらやす」などを見学
- 11:30 昼食@閉上さいかい市場「浜や」
- 12:30 仙台市荒浜海岸方面を訪問
- 14:30 仙台東教会訪問 *ありがとうございます。
- 16:00 JR仙台到着
- 16:24 仙台駅出発～東京へ



「うらやす」周辺



閉上の慰霊碑

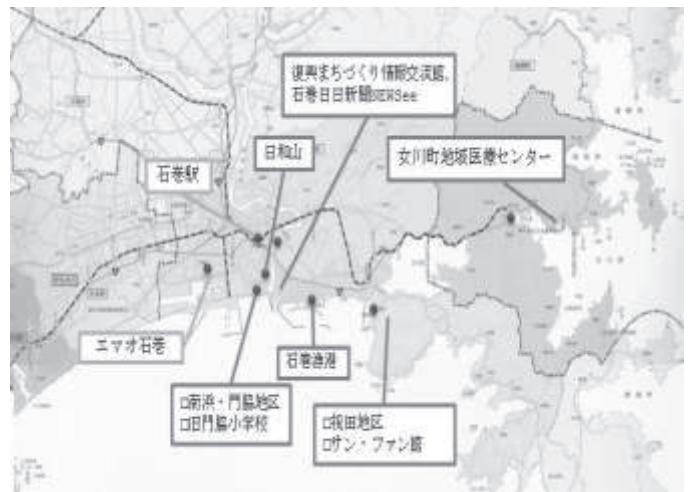


☆先日行われた、石巻コースの一例

- 10:10 石巻駅ピックアップ
- 10:20 復興まちづくり情報交流館
- 11:45 昼食@おかせい
- 12:40 女川町地域医療センター
- 13:20 袖ノ浜・渡波大森・祝田仮設団地説明(車中)
- 14:00 門脇小学校(車中)
- 14:05 「がんばろう! 石巻」
- 14:25 日和山公園
- 14:50 石巻日日新聞NEWSee
- 15:50 エマオ石巻着



(上) 石巻日日新聞NEWSee
(左) 女川町地域医療センターから、海を臨む



スタッフ

被災者支援センター長	上野和明
教団派遣専従者	佐藤真史(仙台)、深谷有基(石巻)
エマオ仙台	内手翔太、菊池護、高橋千沙子、千葉正彦、八田美夕
エマオ石巻チャプレン	関川祐一郎
エマオ石巻	柴田奈都香、西田紗代子、深山鷹一、鎌田仁美
事務局スタッフ(仙台)	戸枝季子、永野香織、畑屋武志、新井ななえ
仮設住宅・復興住宅 支援アドバイザー	柴田信也

日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・エマオ

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1-13-6 2階

Tel 022-265-0173 Fax 022-265-0174 ✉ tohoku.uccj@gmail.com

公式ウェブサイト <http://emao311.org/>

Facebook <http://www.facebook.com/emmaus.sendai/>

※メールマガジンを毎月11日に配信しています。詳しくは、事務局まで。

